

# 令和5年度 自己評価結果公表シート

大王谷幼稚園

## 1. 幼稚園の教育目標

○幼稚園の目標 子どもの「自立」と「共生」の心を育む ○上記目標達成のために 「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める
---

## 2. 本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した幼稚園評価の具体的な目標や計画

重点的に取り組むことを目標にした幼稚園評価の具体的な目標 1. 遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動する教育の充実に努める。 2. 規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に努める。 3. 幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。 4. 安心して安全な幼稚園を保证するための取り組みに努める。 5. 幼稚園と小学校との連携を推進する。 6. 地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。
---

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1)教育活動の充実	B	年齢や発達に応じた遊びや集団での遊びを各学年で試行錯誤しながら保育計画し実践に努めてきたが、主体性や連続性を持った遊びへ向けてさらに協議していきたい。
(2)道徳指導等の充実	A	子ども同士の関わりの姿や実態から話し合い、職員間で共有することを大切にしている。教師は子ども自身が考え自分から行動に移せるような言葉掛けを意識し、クラス全体でも考える機会を設けてきた。
(3)基本的な生活習慣	A	生活面は日々の根気強く持続的な関わりで、見通しを持って自ら行う姿へと繋がっている。個人差があるため、家庭と連携を図りながら、個別での丁寧な関わりを行っている。
(4)安心して安全な幼稚園	B	毎月の避難訓練では、振り返りを通して日々の生活に反映できるように話し合ってきた。園内での怪我や危険性のあった場面・子どもの行動について職員間で共有しているが、改めて周知徹底に努めたい。
(5)小学校との連携	A	年長児が1年生の授業を参観させて頂いて小学校の雰囲気を感じる機会となった。各小学校と情報交換の機会を設け、就学に向けて連携を図っている。
(6)豊かな交流体験の充実	B	地域の中学生の来園や職場体験実習の受け入れ等、少しずつ交流の機会を設けている。園内では戸外遊びを中心に異年齢クラス間での遊びを取り入れているが、行事についてはさらに検討していく必要がある。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
B	子ども達や園の現状に合わせて行事の内容を見直しながら取り入れ、行事を通しての育ちや取り組みの過程も大切に話し合ってきた。引き続き、主体性や繋がりのある保育を意識しながら見通しを持って保育計画を行っていきたい。園内の出来事にとどまらず、知り得た情報を園全体で共有し、安心して安全を目指してきたが、今後も職員の意識向上に努め、丁寧な共通理解を図りながら共有したことに確実性を持たせたい。

◎「3、4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分でない
D	取組が不十分である

## 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
(1)教育活動の充実	日々子どもの姿を捉えて振り返り、環境構成や関わりを工夫しながら、見通しを持った保育計画の中で主体性や繋がりのある遊びを仕掛けていく。
(2)道徳指導等の充実	場面を捉えて子ども達と話し合うことを大切に、全体集会の場も設けていく。職員は園全体の共通理解に基づいた関わりや指導を心掛ける。
(3)基本的な生活習慣	年齢や一人ひとりの姿に応じた丁寧な関わりを継続していく。具体的な子どもの姿や関わり方・協力の必要性を発信して、家庭との連携も図る。
(4)安心して安全な幼稚園	危険性のあった事案から手立てを話し合い、未然に防げるようにする。情報共有したことを確実に実行していく。
(5)小学校との連携	小学校教諭来園の機会に、園生活や就学前の子どもの育ちを知って頂くことで、より深い連携を図っていく。
(6)豊かな交流体験の充実	社会見学や園外での収穫体験の機会を設けていく。園内では異年齢間での遊びを継続し、日頃の自然なやり取りも大切にしていきたい。